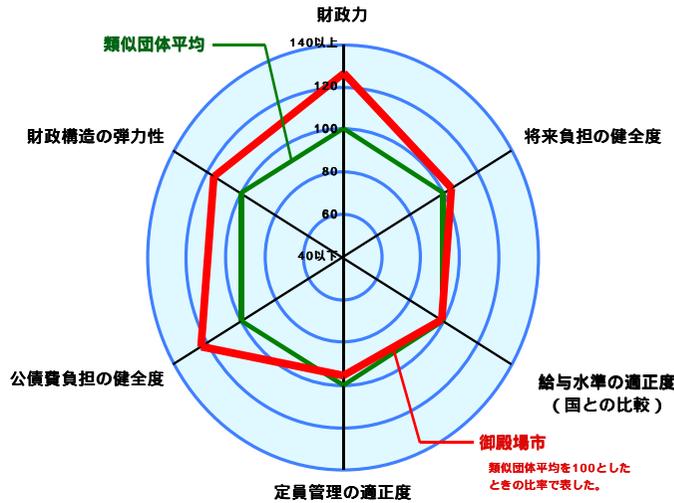
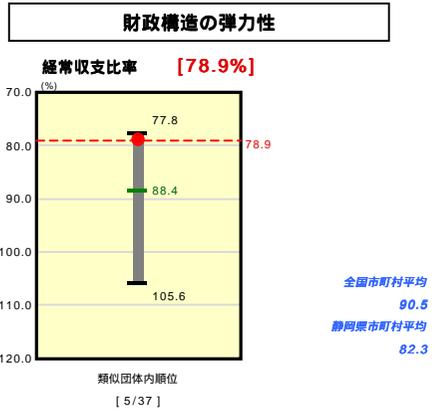
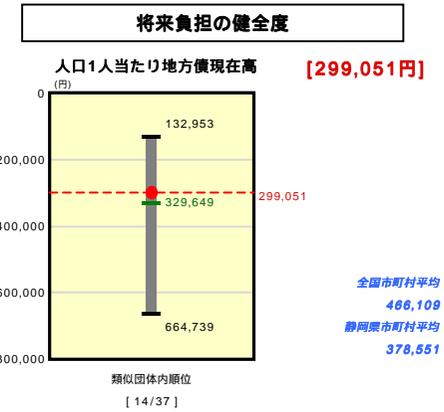
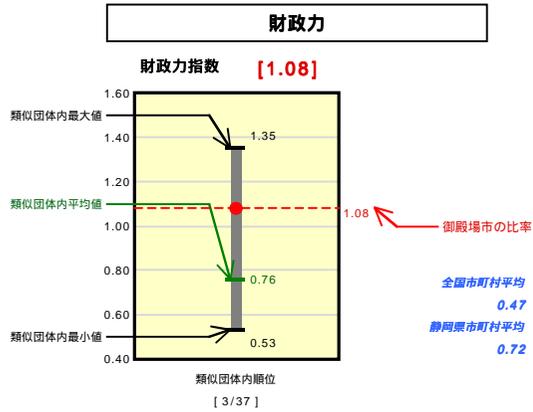


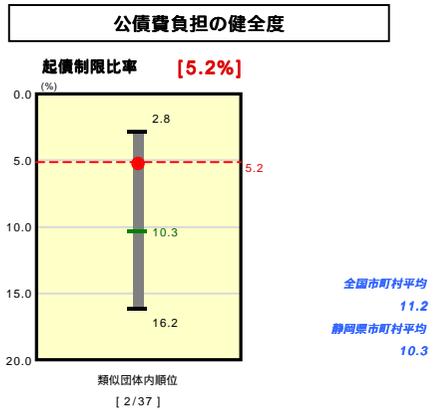
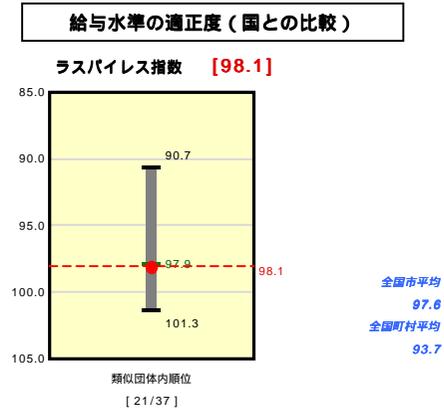
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

静岡県 御殿場市

人口	84,564人(H17.3.31現在)
面積	194.63 km ²
歳入総額	31,936,624千円
歳出総額	30,415,381千円
実質収支	1,274,045千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

経常収支比率 : 類似団体では上位であり、平均値より9.5%低い水準にある。しかしながら、近年公債費や扶助費などが増加傾向にあるため、比率は前年度より1.4%増加し、今後の指標も悪化する懸念がある。人件費削減などの行財政改革を積極的に取り組み、市税・使用料等の徴収強化等を図ることにより、現在の水準を維持・向上させる。

起債制限比率 : 類似団体では上位2番目であり、平均値より5.1%低い水準にある。減税補てん債や臨時財政対策債などの特例債の借入額が増加していることなどにより、比率は前年度より0.2%増加した。国の制度改革に伴い特例債の借入額を縮減し、大規模な事業計画も整理・縮小を図り、18年度以降の市債は起債計画に基づき20億円程度(対16年度8億円余減)に縮小する。

ラスパイレス指数 : 類似団体の平均を若干上回る水準にある。各種職員手当等の抜本的見直しを実施しているが、今後もさらに取り組み、適正な給与水準の維持に努める。

人口1,000人当たり職員数 : 類似団体の平均を若干上回る水準にある。大量退職期を迎える中、職員の年齢構成の平準化や人材の確保等についても考慮し、組織機構改革、事務事業の見直しや民間委託の推進により、今後5年間で職員数を5.3%(36人)の削減を目標とする。

